

# 常任委員会審査結果報告

主な委員の意見や要望は次のとおりです。

## 市民環境教育委員会

- **補正予算**  
災害援護資金貸付金について、事務手続きに時間がかかることは理解するが、被災者の負担を軽減するため、援護資金の貸し付けを可能な限り年度内に完了するとともに、今後の災害に備え、手続きの簡略化を含む見直しを求める。
- **補正予算**  
清掃事業運営事業等について、様々な課題や問題点が指摘された災害対応検証中間報告を真摯に受け止め、災害廃棄物処理に関して他都市の事例を踏まえ、今後の災害に備えた対策を確実に実施すること。
- **当初予算**  
消費生活センターは、消費者被害の未然防止や、被害を受けた後の相談に乗るなど重要な役割を果たしている。消費生活相談員などの人材育成に力を入れてほしい。
- **脱炭素先行地域関連事業**は、全国的にも注目される事業で、国の施策と相まってさらに成長が期待できる分野なので、市が一丸となって取り組むこと。併せて、関係団体と連携し、民間事業者などへの切れ目ない支援を求める。
- **小中学校維持管理事業**について、適切な学校の規模や必要な設備などを検討しつつ、学校施設の老朽化を改善する計画を早急に立てること。また、体育館へのエアコン整備やプールの改修など、検討課題は山積みだが、先送りにせず進められたい。

## 総務委員会

- **補正予算**  
災害時には情報が錯綜するため、正確な情報が速やかに伝わるよう**静岡型災害時総合情報サイト**を構築されたい。また、インターネット等になじみのない市民にも、防災ラジオや自治会を通じて、わかりやすく情報を伝えてほしい。
- **当初予算**  
お知らせ事業について、伝わる広報の実現に向け民間のノウハウを活用されたい。
- **台風15号**の教訓から、様々な新規事業に対応していることを評価する。今後それらの取組が台風以外の災害時にも効果を発揮することを期待している。
- **行政のデジタル化推進事業**について、デジタルになじみのない市民にも配慮したわかりやすいデジタル化を推進されたい。
- 4月の統一地方選挙に向け、投票所の新設や設置場所の見直しなど、**投票率の向上に資する取組**を求める。
- 行財政改革の着実な実施及びアセットマネジメントの推進や、新たな財源確保の手段を検討し、**経常収支比率**などを当初の予想より改善されたい。
- **資金運用**について、国東市のような従来と違う新たな視点で、財源確保につながる成果を出すよう努力されたい。

## 観光文化経済委員会

- **補正予算**  
まちは劇場TRY'22開催事業は、来場者の増加や活発な消費活動を示すなど素晴らしい事業であるため、5年度以降にもつながる事業とすること。
- **農地災害復旧事業**は、早期の災害復旧に向け、農家への支援の継続を求める。
- **当初予算**  
訪日教育旅行誘致促進事業は、子ども達の国際的な視野を広げるためにも市内の学校との交流も含め推進されたい。
- 本市をホームタウンとするプロチームが多くあるため、市民がチーム愛を育めるよう**プロスポーツチーム等連携プロジェクト**では、引き続きチーム活動を支援すること。
- **海洋文化施設の建設に係る修正案及び請願**について、施設の必要性は認識しているが、本市の経済状況の見直しは不透明で、市民の理解も不十分である。2月補正予算での修正議案は否決されたため、建設計画を白紙に戻すことは難しいが、請願の趣旨である事業内容の再検討については理解できるため、当初予算の減額修正案に賛成、請願も採択すべきとの意見があった。一方、アフターコロナを見据えて進めてきたことを踏まえ、今こそ始動すべきとの発言や、施設整備は経済の活性化と人口増大につながるため、事業の停止は未来への損失につながるなどの理由から減額修正案に反対、請願についても賛成し難いとの意見があった。

## 厚生委員会

- **補正予算**  
私立こども園・保育所等及び民間障害児通所支援事業所等における**子どもの安全対策強化事業費助成**について、送迎用車両の安全装置は補完的なものであり、人による確認が重要である。また、現場職員への指導や安全意識を徹底し、特に子どもの見守りを担う保育士の配置等を検討すること。
- 清水病院職員の期末・勤勉手当に対する源泉所得税の納付遅延に係る**損害賠償の額の決定**について、二度と同じ過ちを起こさないよう、しっかりとした対策を講じること。
- **当初予算**  
清水地域医療提供体制確保事業及び清水地域医療人材育成事業費助成について、医療の充実は重要であるため、医療提供体制をしっかりと確保すること。今後も医師の確保について、各病院を支援してほしい。
- **しずおかハグくむ子育てプロジェクト**として、総合的に子育て施策を展開することを評価する。少子化対策は、デジタル技術を活用し、市民に寄り添って事業を進めること。
- **第2子以降の保育料の完全無償化**は、現在対象外の認可外保育施設も、今後無償化を検討されたい。また、第1子の保育料の無償化についても議論していく必要がある。

## 企業消防委員会

- **補正予算**  
台風15号の浸水被害に対する水道料金及び下水道使用料の減額について、チラシなどでは、令和5年2月末までに罹災証明を発行された方が対象となっているが、3月以降も柔軟に対応することを市民へ周知してほしい。
- **消火栓の設置**は、市民の安全・安心に関わるため、消防局と上下水道局が連携を密にし、計画どおり進めること。
- **当初予算**  
承元寺取水口機能停止に伴う水源検討業務は、調査で終わらず最終的に水源が確保できるところまで進め、清水地区水源検討部会との中間報告も含め、検討内容を市民にわかりやすく報告すること。
- **下水道事業**について、雨水幹線や雨水ポンプ場などの整備を着実に進めてほしい。
- **呉服町ビル火災検証作業**について、市長への報告とともに、市民へも速やかに報告し、情報公開、情報開示の考え方について、適切な法令解釈のもとで対応してほしい。また、二度と同じような事態を起こさないよう再発防止に努めること。

## 都市建設委員会

- **補正予算**  
御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発事業は、中心市街地のにぎわいや回遊性の向上、都市防災機能の強化や歩行者の動線が改善されるなど、期待が持てる事業である。ウォーカーブルなまちづくりに向けて、地下道にある段差の解消やにぎわいづくりとして地下道を照明等で演出するなど今後検討してほしい。
- **河川改修事業**では、改正水防法に伴う市内一級・二級河川を対象とした浸水想定区域図を作成することであり、今後の防災政策に生かしてほしい。
- **当初予算**  
静岡都心地区まちなか再生事業では、静岡都心地区における中長期的な視点による、まちなか再生指針を作成することであった。公民共創と都市アセットの再活用・再構築をキーワードに、居心地がよく、歩きたくなるまちなかの創出に向けた空間活用の手法や運営体制の検討では、民意を反映した取組を目指すとのことであり、その姿勢に共感する。
- 防災・減災に向けた社会基盤の強化体制づくりを推進するための**雨水貯留浸透施設整備事業**は、市民ニーズを反映した整備と共に最大限の対策をしてほしい。